

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○6月21日～

先週のFOMCで米国の金融緩和縮小が予想よりも早まってくる可能性が浮上したことで米国の株などが調整入りとなっています。

週明けからリスク回避の流れが強まるとクロス円も徐々に下落幅が大きくなりそうです。

今週は相場の動きを良く見て、慎重に取引したいです。

<ドル／円>

ドルは111円手前で上値が重くなり、反落してきました。

下値は109円台を維持できれば堅調な動きが続きそうですが割り込んでくると4月安値の107円台半ばあたりが視野に入ってきてそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も先週末から下げが加速しています。

週足などで上昇トレンドが崩れなければいいですが株価のトレンドが崩れてしまう事態になれば調整が深まるリスクもありそうです。

11月から始まった上昇トレンドが崩れてきているペアが多いので下げ止まるまで注意。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では6月東京都都区消費者物価指数などがあります。

米国では6月リッチモンド連銀製造業指数、5月中古住宅販売件数、パウエルFRB議長発言、6月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）、5月新築住宅販売件数、5月耐久財受注、前週分新規失業保険申請件数、1-3月期GDP（確定値）、5月個人消費支出、6月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏でラガルドECB総裁発言、ユーロ圏とドイツで6月製造業・サービス業PMI（速報値）、ドイツで6月IFO企業景況感指数などがあります。

ほかには英国で政策金利、英中銀資産買取プログラム規模、英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨の発表などがあります。